

◆【郡山市版】『幼保小の架け橋プログラム』ガイドブック◆

他者と協働し主体的に学び続ける子ども

～ふるさと郡山でのつながりを通して～

みんなであつながるう



「架け橋期」とは？ 5歳児から小学校1年生までの2年間を指します

生涯にわたる基盤づくり

学びの始まりは幼児教育です。幼児期の多様な体験や学びが小学校以降の学びや生活の基盤となり、子どもたちの成長や人格形成に大きな影響を与えます。



学びのつながりがより大切となる時期

幼児期の「遊びを通じた学び」と、小学校での「教科の学び」は切れ目なくつながっており、子ども一人ひとりの成長を連続的に支えることが求められています。小学校に入学する子どもたちは「何もできない」のではなく「様々なことができる」子どもたちなのです。

子どもを中心にした共通理解が必要

幼稚園・保育所・認定こども園・小学校といった施設の違いを超えて、子どもを「かけがえのない存在」として受け止め、共に支えることが重要です。何より大切なことは、幼保小に関わる大人が『一緒に話し合い』『一緒につくり』『一緒に練り直していく』ことです。

これまでを振り返ってみると

幼保小連携の課題は・・・



- つながることや連携に抵抗感がある
多忙感、人手不足
- 学びの連続性が意識されていない
小学校に入学するとリセット？
- 幼児期の終わりまでに育ててほしい姿が
わからない、誤解されている
- スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムが
それぞれの教育施設でバラバラ
- 具体的な取り組み方や改善方法を
どうしたらいいのか、わからない

架け橋期の教育の重要性

幼保小のつながりが子どもたちを大きく伸ばします

学校生活への安心感

- 「小1プロブレム」の要因となる、環境の変化や一斉指導、教科中心といった急激な変化を緩やかにできます。
- 子どもの多様化・個人差の拡大への対応につながります。
- 子どもへの理解が深まることで、学習規律の定着や問題行動への素早い対応が可能になるなど、教職員の負担軽減が期待できます。

子どもの主体的な学びへ

- 自己肯定感を高め、失敗しても挑戦できる子に育つことが期待できます。
- 自分で考え、選び、行動する力が伸びます。

幼保小の協働の広がりが期待できます

- 「連携に上下はない」という考えのもと、保育者・教員・保護者が互いに学び合い、協働することによって連携が深まり、子どもたちの育ちを社会全体で支える体制が広がっていきます。



幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」

① 健康な心と体

生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

② 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

③ 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

④ 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

⑤ 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えたり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼児教育施設内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

⑥ 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

⑦ 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり大切にする気持ちをもって関わるようになる。

⑧ 数量・図形・文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

⑨ 言葉による伝え合い

保育者や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

⑩ 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ、感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

「10の姿」は学校の学びへ

幼児期の「10の姿」は、小学校教育へとつながっていくんだね



【生活科】

- 学校大すぎ（スタートカリキュラム）
 - ・どうぞよろしく
 - ・学校生活のきまり、トイレやロッカーの使い方
- 学校探検（異学年交流）
- 季節に応じた遊び・自然とのかかわり
 - ・公園探検・水あそび・雪あそび・昔あそび
 - ・秋の木の実を用いたおもちゃまつり
- 栽培活動（あさがお）
- もうすぐ2年生（園児へ小学校生活を紹介）

【音楽科】

- 身体表現
- 楽器を用いたリズムあそび
- 音楽づくり
- 鍵盤ハーモニカでドレミに親しむ

【体育科】

- 運動身体づくりプログラム
- 体ほぐしの運動遊び（鉄棒・うんてい）
- 多様な動きをつくる運動遊び（なわとび）
- かけっこ、リレー、幅跳び遊び
- 水遊び
- マット遊び、跳び箱遊び
- 表現遊び
- ボール投げゲーム
- ボールけりゲーム

【国語科（書写の学習）】

- 自己紹介、発表の仕方、話の聞き方
- 鉛筆の持ち方・文字の書き方、読み方
- 文章の書き方（句読点）
- 言葉を基に、想像を広げながら物語文を読む。
- 言葉を基に、説明文の内容を正しく読む。

【算数科】

- 数の読み方、書き方
- 数学的活動を取り入れた、数の豊かな感覚の育成（具体物やブロック操作の積極的な導入）（たし算・ひき算の計算・問題解決）
- かたちあそび（図形の構成要素への気付き）

【特別の教科 道徳】

- 《児童の実態に応じた重点項目（例）》
～学校行事や他教科との関連を図って～
- よりよい学校生活
 - 礼儀
 - 善悪の判断
 - 規則の尊重
 - 生命の尊さ
 - 親切・思いやり
 - 節度・節制

「幼児期に育ってほしい10の姿」
を踏まえた学びへの接続

【図画工作科】

- 材料を用いた造形あそび（砂あそび・粘土・工作）
- 絵に表す活動
- 鑑賞活動

【その他】

- 英語表現（AETとの英語学習）
- ICTを活用した学び
- 学校行事・運動会、避難訓練など

【学級活動】

- めあてづくり・振り返り
- 通学路の歩き方
- あんぜんな避難
- 給食の準備、そうじのしかた
- かかりのしごと
- 男の子女の子
- 異学年との交流（園児・上級生への感謝の会）

それでも悩みはつきないけれど…

日々の業務が忙しい…

大切なのはわかるけれど、あまり時間がない。効率的に取り組む方法はありませんか？

地域や学校によって、温度差や悩みもある…

まだまだ、基盤や整備がそろっていない…

幼保小の架け橋プログラムに取り組みたいけれど

他の幼児教育施設（※）や小学校との交流が少ない場合はどうすればいいの？

教育委員会や地域の取組は？

これから、幼保小の連携の機会が増えてくるのかな？



※本ガイドブックでは、説明する内容に応じて「幼児教育施設」「幼保」「園」等の表記を用いています。いずれも、幼稚園・保育所（園）・認定こども園等の施設を含めた意味で使用しています。

できることからやってみましょう

園（学校）のお便りを回覧してみる

相互参観に参加してみる

子どもたちが不安に思っていることを質問してみる

つながることは、お互いの教育を理解すること興味のあることから質問してみましょう！

入学する子どもたちの情報を共有する



卒園した子どもたちは、どんな活動をしているのかな？

行事の様子を見に行ってみたいな

◆ 連携・協働するためには、園長・所長・校長方の連携とリーダーシップが重要です

- ① 機会の設定 …… 幼児教育施設と小学校の先生が顔を合わせる機会の設定
- ② 連携窓口の明確化 …… 幼保小接続担当の先生を位置付けるなど窓口の一元化
- ③ 意義やねらいを共有 …… 全ての先生で幼保小の架け橋プログラムの意義やねらいを共有
- ④ 体制づくり …… 先生方が保育参観や授業参観などへ行くことができる体制整備

◆ 『郡山市幼保小連携推進事業』としても役割を果たしていきます

〈協議会の場の設定〉

- 年間の見通し（各施設への架け橋プログラムの周知）
- 協議会の開催
- 研修会の開催

今はどのレベルかな？

続けられるステップで着実に進めていきましょう

Step 2 市の協議会へ

- ◎ 郡山市教育委員会が主催する事業
 - ・ 幼保小授業と保育の相互参観（協議会）
 - ・ 幼保小合同研修会
- 理解を深めていきましょう

（目標 令和8年度）

Step 4 情報交換・連携の見通し

- ① 幼保小で、子どもたちの実態を紹介し合ったり情報交換を行ったりしてみましょう
- ② ガイドブックをもとに、幼保小連携の見通しをもちましょう

（目標 令和8年度）

組織計画

情報交換

カリキュラムづくり



実施

- 子どもの思いや願いを大切に、実践を重視しましょう
- 「主体的・対話的な深い学び」の実現を目指していきましょう
- 施設の枠を越えて、対話、協働、発信を行っていきましょう
- 持続可能な取組となるよう、負担軽減や効率化を図りましょう

（目標 令和9年度～）

Step 1 つながろう

- ◎ 入学する（した）小学校や近隣の幼児教育施設と、つながりをつくることから始めてみましょう

（目標 令和8年度）

Step 3 組織・計画

- ① 体制を整える
 - ・ 担当を決める
 - ・ ねらいや意識の共有を図る
 - ・ 参加できる体制づくり
- ② 次年度の教育課程等に交流計画を位置付ける（12月～1月）

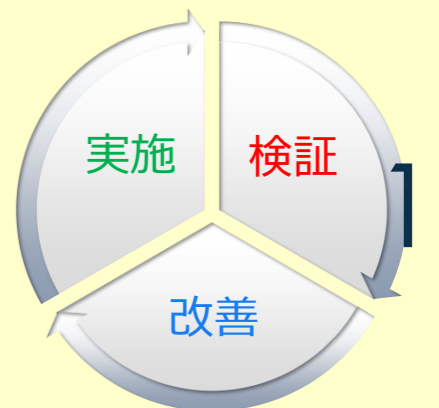
基盤をつくりましょう

（目標 令和8年度）

Step 5 話し合い・協議

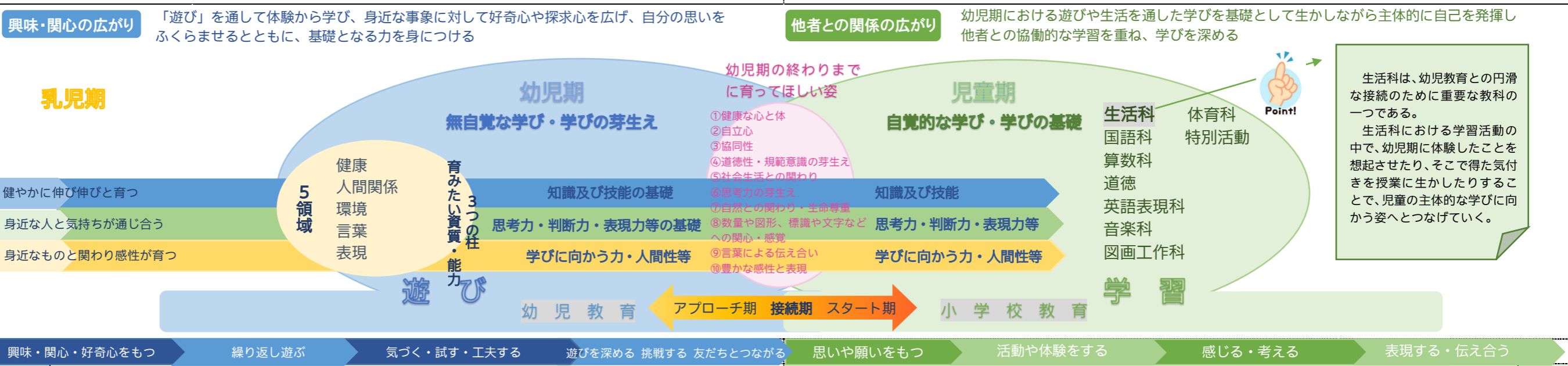
- ◎ 話し合った内容をもとに、「つながる」ことを意識しながら「架け橋期のカリキュラム」を作成してみましょう
- ※ ガイドブック「04～06」を参照

（目標 令和8年度～）

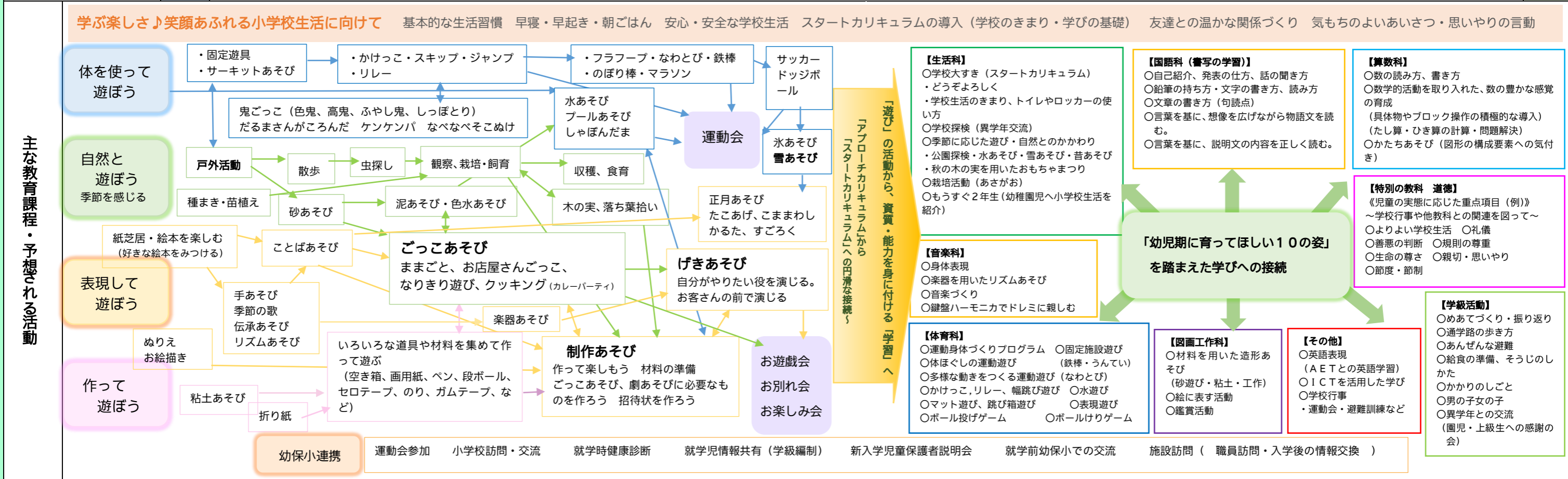




期待する子ども像	他者と協働し主体的に学び続ける子ども ～ふるさと郡山でのつながりを通して～	
	ねばり強く挑戦し、思いを伝えられる子ども	自分で考え、目標に向かって根気強く、思いやりをもって行動できる子ども
	5歳児	小1



7 指導上の配慮	先生の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 保育者との信頼関係を基盤とし、安心感を大切にされた関わり→他の幼児との関わりへ 幼児に共感し、疑問や意欲を活動に生かす関わり 幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるような関わり 幼児一人ひとりの特性に応じ、発達課題に即した関わり 学校の学びへの発展を意識した関わり 	先生の関わり
	環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 3つの視点・5領域を意識した環境づくり 様々な遊びや生活の中で考えたり、試行錯誤できるような場を作り、知的好奇心を高められる環境づくり 幼児の自己選択・自己決定を大切に、主体的に取り組める環境づくり 自然や自然の変化を感じ取り、身近な事象への関心が高まる環境づくり 子ども一人ひとりの発達や特性、実情に配慮し、多様性を保障した環境づくり 	環境づくり



手順① 期待する子ども像を話し合しましょう

架け橋期のカリキュラムづくりの第一歩は「どのような子どもに育てほしいか」を幼保・小の先生方が話し合うことです。日頃子どもたちと関わる中で感じている姿や願いをお互いに出し合い、理解を深めながら、目指したい方向性を共有していきましょう。

- 例： 興味をもってチャレンジする子
思いやりをもって行動する子
自分の思いを伝える子
思考を深め、学び続ける子

手順② 共通の教材について考えましょう

子どもたちが日常の中で親しんでいるものや、心を動かされている体験について話し合います。出し合った体験や素材の中で、幼児期から小学校低学年まで無理なく扱うことができる教材を選びます。「同じ教材を用いて関わり方が広がるもの」を意識することが大切です。

- | | | |
|-------------------------|---|--------------|
| 例： しぜん（おちば、雪、氷） | → | 生活科 |
| かず（なかまあつめゲーム、かぞえてみよう） | → | 算数科 |
| リズム（伝承あそび、楽器あそび、遊戯） | → | 音楽科 体育科 |
| せいさく（廃材を使って、土あそび） | → | 図画工作科 |
| ことば（しりとり、ごっこあそび、手あそび、歌） | → | 国語科 音楽科 特別活動 |
| うんどう（鬼ごっこ、なわとび、のぼり棒） | → | 体育科 |
| むかしあそび（かるた、凧揚げ） | → | 生活科 国語科 |
| いきもの（野菜、昆虫） | → | 生活科 |
| ふるさと（うねめまつり・桜まつり・科学あそび） | → | 生活科 |



手順③ 予想される活動を話し合しましょう

共通の教材を中心に、遊びや学びがどのように広がっていくのかを幼保・小それぞれの視点から考えます。子どもの主体的な関わりが生まれることを大切にしましょう。

- ・ 5歳児では、どんな活動をし、どう展開するのか
- ・ 小学校では、どんな学習活動に発展するのか
- ・ 友達とどのように関わり合うのか

↓
子どもたちは、何を学ぶのか

手順④ つながり意識して、実践してみましょ

架け橋期のカリキュラムを実践するにあたっては、子どもの姿や思いに目を向けながら柔軟に取り組むことが大切です。日々の保育・教育の中での気づきや小さな変化を大切に、幼保・小が対話を重ねながら、無理のない形で実践を積み重ねていきましょう。

手順⑤ 実践を振り返り、次年度の計画に生かしましょう

実践を通して見えてきた子どもの姿や気づきを共有し、教材の良さや改善点を話し合います。カリキュラムは立てて終わりではなく、実践して育てていくものです。実際に取り組む中で「うまくいったこと」「工夫が必要だと感じたこと」など、様々な気づきが生まれます。そうした声を持ち寄り、話し合うことで、次年度のより良い架け橋カリキュラムへとつなげていきましょう。



期待する子ども像		共通の教材						
主な教育課程・予想される活動	興味・関心・好奇心をもつ	繰り返し遊ぶ	気づく・試す・工夫する	遊びを深める 挑戦する 友だちとつながる	思いや願いをもつ	活動や体験をする	感じる・考える	表現する・伝え合う
	環境設定							
10の姿	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

遊びと学びの共通点って意外と多いですね！

共通の教材を考えよう
子どもたちの日ごろの姿を共有し、共通の教材を一つ決める

思いや願いに触れる
共通の教材にまつわる活動に子どもたちのどんな思いや願いがあるかを考える

園でどんな活動をするか
教材や子どもたちの思いや願いを踏まえ、どんな活動が予想されるかを考える

子どもたちは何を学ぶ？
活動を通して、子どもたちはどんなことを感じ、どんなことを学ぶのかを考える

どんな活動に発展するか
活動から感じ取ったことを、どんな活動・学習に発展していくかを考える

10の姿について
活動の中に、たくさんの10の姿が入り込んでいることがわかりますね。入学前までの到達目標ではありません。就学後も継続して育てていくものと捉えましょう。

協議会で話し合って作成しましょう

園での活動は小学校の学びに繋がりますね！



期待する子ども像	他者と協働し主体的に学び続ける子ども ～ふるさと郡山でのつながりを通して～				自分で考え、目標に向かって根気強く、思いやりをもって行動できる子ども			
	5歳児				小1			
遊びや学びのプロセス	<p>興味・関心の広がり 「遊び」を通して体験から学び、身近な事象に対して好奇心や探求心を広げ、自分の思いをふくらませるとともに、基礎となる力を身につける</p>				<p>他者との関係の広がり 幼児期における遊びや生活を通じた学びを基礎として生かしながら主体的に自己を発揮し他者との協働的な学習を重ね、学びを深める</p>			
指導上の配慮	先生の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 保育者との信頼関係を基盤とし、安心感を大切にされた関わり→他の幼児との関わりへ 幼児に共感し、疑問や意欲を活動に生かす関わり 幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるような関わり 幼児一人ひとりの特性に応じ、発達の課題に即した関わり 学校の学びへの発展を意識した関わり 			<p>【「主体的・対話的で深い学び」を実現し、資質・能力を育むために】</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてをもち、目的意識を明確にして、「できる喜び」を味わえる関わり 他教科との関連を図ることで、「学ぶ楽しさ」や「日常生活とのつながり」(学びの有用性)を実感できる関わり 幼児期の遊び(経験)を振り返り、学びの広がりを実感することで、学習意欲を高める関わり 他者との「協働的な学び」を通して、思考力・判断力・表現力を育むことができる関わり 			先生の関わり
	環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 3つの視点・5領域を意識した環境づくり 様々な遊びや生活の中で考えたり、試行錯誤できるような場を作り、知的好奇心を高められる環境づくり 幼児の自己選択・自己決定を大切に、主体的に取り組める環境づくり 自然や自然の変化を感じ取り、身近な事象への関心が高まる環境づくり 子ども一人ひとりの発達や特性、実情に配慮し、多様性を保障した環境づくり 			<p>【子ども一人一人が安心して学校生活を送るために】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ほめる」「認める」関わりを大切に、自己肯定感を高める学級経営 視覚的表示を工夫し、学校生活の見通しがもてる環境づくり 学校生活の「きまり」や「ルール」、「学び方」を習得できる環境づくり 異学年交流や縦割り班の活動の場を設けるなど、安心感がもてる環境づくり 			環境づくり
期待する子ども像								
共通の教材								
主な教育課程 ・ 予想される活動	興味・関心・好奇心をもつ	繰り返し遊ぶ	気づく・試す・工夫する	遊びを深める 挑戦する 友だちとつながる	思いや願いをもつ	活動や体験をする	感じる・考える	表現する・伝え合う
	<p>より主体的な学びへ</p>							
環境設定								
10の姿	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

9



幼保の取組

幼児期の学びは「遊び」が中心となります。「主体的な活動」を土台に、子どもたち自身が遊びを通して発見を楽しみます。保育者は子どもたちが没頭する姿から、環境構成を工夫し、小学校での「学び」に自然とつながるような関わりを意識しています。

子どもの興味・関心への関わり

子どもの興味・関心は場所や季節等によっても変化していきます。遊びや生活の中で、子どもたちが様々なことに興味を持ち、「遊び」の没頭につながるような関わります。

保護者との連携

園での様子や家庭での様子を共有し、入学を見据えた一人ひとりの子どもの理解を深めることで、入学への期待感を高め、不安を軽減できるようにします。

小学校への期待につながる活動

「遊びは学び」を土台とし、遊びや生活を通して、小学校での生活に「興味」や「期待」、「見通し」などをもてることを大切にしています。小学校入学を見据えた活動を「学びの先取り」と捉えないよう十分に配慮します。

○ 簡単な当番活動への挑戦

植物への水やり・生き物へのエサやり等「みんなのため」の役割を果たせる経験を積み重ね、「小学校でもできる」という自信へと繋がります。

○ 文字や数に触れる環境

遊びの中で、文字を書く・数をかぞえる・違いに気づくといった経験をし、小学校での「学び」への期待感を高めます。

○ おいしい給食体験

小学校入学後の楽しみの1つが給食。給食の様子をわかりやすく小学校の栄養士に教えてもらいます。その他にも配膳の仕方や入学までに取り組んでほしいことを話してもらい、子どもたちのワクワク感を高めます。

小学校との連携

入園時からの育ちの記録をもとに、一人ひとりの育ちを丁寧に伝えます。



園外の方からの話は貴重な経験で、子どもたちは真剣に耳を傾けています。

幼保小に共通する取組

「子どもを中心に、つながる学び」を合言葉に、幼保・小の先生が子どもの育ちを中心に据えた対話を通して相互理解を深めながら、実践をすり合わせていきます。

相互参観・合同研修会

双方の活動・授業の風景を参観し、意見を出し合います。日頃の子どもたちへの関わりに生かしたり、共通する内容に関する講演を聴いたりして、学びを深めていきます。

情報の共有

子どもの育ち（得意なこと・好きな遊び・友だちとの関わりなど）について幼保・小で丁寧に引き継ぎを行います。

子ども同士の交流

＜年長児が小学校へ＞

広い校庭に、体育館。音楽室や図書室など小学校ならではの教室を見学させてもらおうと、小学校ではどんなことをするのか、子どもたち一人ひとりがイメージを膨らませ、入学への期待が高まっています。

＜小学生が幼保施設へ＞

町探検、集団遊びなどの交流活動を通し、年下の子のお手本となったり、優しく接したりと、思いやりを持って積極的に関わろうとする姿が見られます。

＜交流活動＞



＜相互参観＞



＜学校探検＞



＜学校行事紹介＞



子どもたちへの関わり方や、授業の仕方を実際に見学すると参考になることがたくさんあります。

小学校の取組

小学校入学は子どもたちにとって期待と不安で胸がいっぱいです。そんな子どもたちの「学びに向かう力」が発揮できるように幼児期の育ちを受けとめ、「学校って楽しい」と思えるような授業・学級経営をしています。

スタートカリキュラムの充実

幼児期の生活リズムを踏まえ、授業の構成を工夫し、体験的な活動を取り入れながら、徐々に小学校の生活リズムに移行できるようにします。

安心して過ごせる環境づくり

園からの情報をもとに一人ひとりの個性を理解し、「目で見てわかる」環境を整えます。

保護者連携・相談体制の充実

入学後の相談体制、家庭での様子の聞き取りなど、保護者の思いに寄り添い、子どもの学びと学校生活を家庭と共に支えます。

【入学前】

- 保護者への入学説明会の実施
- 情報共有をもとにした学級編制
- 情報共有をもとにした「支援が必要な子」への支援体制づくり

【入学後】

- 入学当初の指導体制の工夫
- 異学年交流の実施



6年生が1年生の教室に来て、名札の付け方や衣服のたたみ方、ロッカーの使い方などをマンツーマンで教えてくれます。6年生が優しく教えてくれることで、温かな人間関係が生まれ、1年生が学校生活を送るうえでの安心感を得ることにつながります。



上級生が育てたあさがおから採れた種を、手作りの封筒に入れて1年生にプレゼント。



子どもたちが安心して過ごせるように、誰が見てもわかる環境を整えています。

物の使い方、1日のスケジュールなどが分かりやすく掲示してあります。



		東 方 部	西 方 部	南 方 部	北 方 部	中 方 部		
小学校		金透小学校	片平小学校	安積第一小学校	日和田小学校	柴宮小学校		
		芳山小学校	喜久田小学校	安積第二小学校	高倉小学校	穂積小学校		
		芳賀小学校	熱海小学校	安積第三小学校	行健小学校	三和小学校		
		桃見台小学校	安子島小学校	永盛小学校	行健第二小学校	多田野小学校		
		赤木小学校	湖南中学校	守山小学校	明健小学校	開成小学校		
		白岩小学校	富山西小学校	御代田小学校	小泉小学校	薫小学校		
		東芳小学校	桑野小学校	高瀬小学校	行徳小学校	大槻小学校		
		大島小学校	小山田小学校	谷田川小学校	富田小学校	大成小学校		
		緑ヶ丘第一小学校		橋小学校	富田東小学校	朝日が丘小学校		
		宮城小学校		小原田小学校	西田学園	郡山ザベリオ学園小学校(私)		
	海老根小学校		桜小学校					
	御館小学校							
私立幼稚園		安積幼稚園	小山田幼稚園	あけぼの幼稚園	富田幼稚園	柴宮幼稚園		
		尚志幼稚園	みらい幼稚園	安積町つつみ幼稚園	富久山幼稚園	大槻中央幼稚園		
		尚志緑ヶ丘幼稚園		たちばな幼稚園	富久山西幼稚園	大谷幼稚園		
		東部朝風幼稚園		田村町つつみ幼稚園	双葉幼稚園	開南幼稚園		
		並木幼稚園		双葉第二幼稚園		郡山ザベリオ学園幼稚園		
		たから幼稚園		みどり幼稚園		郡山女子大学附属幼稚園		
		セントポール幼稚園				多田野幼稚園		
						たちばな西幼稚園		
こども園	幼保連携		希望ヶ丘こども園	エムポリアムこども園	ことりやまこども園	菜根こども園		
	幼稚園型		かたひらこども園		八山田こども園			
公立保育所		久保田保育所	うねめ保育所	永盛保育所	富久山保育所	大槻保育所		
		桃見台保育所	中野保育所	安積保育所	富田保育所	大成保育所		
		柳橋保育所	熱海保育所	成田保育所	西田保育所	開成保育所		
		芳賀保育所	喜久田保育所	御代田保育所	日和田保育所	針生保育所		
			桑野保育所	田村保育所		柴宮保育所		
			鶴見坦保育所	香久池保育所				
	公立・認可保育所		赤木保育所	鉄道弘済会郡山保育所	郡山婦人会保育所	はなさと保育園	八山田どろんこ保育園	ひまわり保育園
			緑ヶ丘保育園	希望ヶ丘保育所	梅の木保育園	のびのび学園	ニチキッズ八山西保育園	ユーパロ室ノ木保育園
			エムポリアム並木保育園	ユーパロつつみ分園(ユーパロ室の木保育園)	だいこん畑の保育園	八山田保育園	わかさ保育園	あさひがおか保育園
			ドレミの保育園		ケヤキツカナや保育園	笑風にこここ保育園	アイグラン保育園郡山東原	郡山どろんこ保育園
		大町分園(はなさと保育園)		ニチキッズ郡山あさか保育園	スギナ保育園		ナーサリールームまんまびあ本園	
		おおまちてらす保育園		ヒューマニティー保育園	アスク八山田保育園			
		ユーパロ室ノ木保育園ユーパロ中町分園		もりのなま保育園郡山安積園サイエンス+	岡ノ城保育園			
				ひだまり分園				
				かぐいけ坂の保育園				
				たんぼぼ保育園				
民間認可 小規模 保育施設		プティ保育園	つばさ保育園	たんぼぼ保育園	L-kids保育園	ココカラ開成		
		ニチキッズ郡山エスバル保育園	あい・サボ文助保育園	ココカラ安積	ナーサリールームまんまびあ	中町はなさと保育園		
		こぼと保育園	チャイルドハウスとみた	キッズ東都学園保育所	なごみ保育園	ひかり保育園		
		ココカラ虎丸	きらきらげんき保育園			キッズルームパオ		
			カンガルー保育園					
認可外 保育施設	一般 施設 認可外 保育	アゴラキンダーガーデン	(待池台あおぞら保育園(企業主導))	(アルカナサラーハウス(企業主導))	(まるみつひかり保育園(企業主導))	菜の花保育園		
		コスモキッズガーデン	ヒューマニティー幼保学園	ベビールームスキップ	(キッズルームひばり(企業主導))	木の実保育園		
				まなそび保育園		(食育保育園豆の木ハウス(企業主導))		
				食育保育園 豆の木ハウス安積				
					すぎのご保育園			
				さぼーとま倶楽部ふあいん				
	事業所 内 保育 施設	院内 施設	桔梗保育園(太田総合病院)	熱海桔梗保育園(太田総合病院)	坪井病院内託児所			
			トモロ保育園		湯浅報恩会さくら保育園			
		企業 主導型 保育 施設	なみきッズ保育園	おひさま保育園		南東北こども学園	食育保育園豆の木ハウス(私保連加盟)	
				待池台あおぞら保育園(私保連加盟)	FSG保育園	ニチキッズ郡山とみた保育園		
				アルカナサラーハウス(私保連加盟)	まるみつひかり保育園(私保連加盟)			
その他		ヤクルト中央	ヤクルトコスモス	ヤクルト菜根	キッズルームひばり(私保連加盟)			
		とうほう・みんなのキッズらんど郡山		ポニー保育園		ベビーシッターぴーかーぶー ベビーシッターown time		



小学校情報



私立幼稚園・こども園情報

8



公立・認可保育所



認可外保育施設

おわりに

本市の基本教育理念「ともに学び、ともに育み、未来を拓く教育の創造」
基本コンセプト「一人一人のウェルビーイングと『学び』を高める 郡山の教育」

幼児期から小学校への円滑な接続を目指す「幼保小の架け橋プログラム」は、この理念を具体的な実践に結びつける重要な取組です。
幼児期に芽生える「やってみたい」「知りたい」という思いは、小学校での学びの基礎へとつながっていきます。
本ガイドブックは、この理念をかたちにする第一歩として、幼児期の学びの芽生えを小学校の学びの基礎へとつなげていくための指針として策定いたしました。

本ガイドブックの策定にあたり、策定検討委員会の皆様とともに、丁寧な議論と熟慮を繰り返してまいりました。
策定検討委員会の皆様は、それぞれの立場や役割を越え、「子どもたちの未来のために」という共通の願いのもと、誠実に、そして熱意をもって協議を積み重ねてくださいました。
心より感謝申し上げます。

本ガイドブックは、策定して終わるものではありません。
ここからが、郡山の挑戦の始まりです。
令和8年度より、本ガイドブックを活用しながら、幼児教育施設と学校が対話を重ね、互いの教育を理解し合い、子どもたちの姿を真ん中に据えた連携を実践として積み重ねていくその歩みを、本市として力強く後押ししてまいります。
幼児期の豊かな学びが、小学校での確かな学びへ、そして未来を拓く力へとつながるように

令和8年3月
郡山市教育委員会
総合教育支援センター所長

幼保小の架け橋プログラム策定検討委員会(令和6・7年度)

本ガイドブックは、幼児教育及び小学校教育の関係機関及び学識経験者で構成する本委員会による協議を経て作成しました。

※ 令和7年度末の所属 敬称略

草野 節生	橘小学校長(委員長)	小林 徹	郡山女子大学教授(アドバイザー)
笠井 修	岡ノ城保育園園長(副委員長)	高橋 孝子	あさひがおか保育園副園長
千葉 奈保	明健小学校教諭	伊藤 清子	菜の花保育園・木の実保育園園長
三瓶有希子	富田東小学校教諭	照井 明美	ユーバロ中町保育園園長
松井 純子	桑野小学校教諭	先崎 誠	開成保育所副所長
中野 光一	こはらだ幼稚園園長補佐	石田 里美	うねめ保育所副所長
相樂 正人	元富田幼稚園園長(R6)	渡邊 貴史	保育課技査
菊地 誠	並木幼稚園園長(R7)		



◎問い合わせ先・支援体制
郡山市教育委員会 総合教育支援センター
☎ 024-924-2541

✉ soukyo@city.koriyama.lg.jp
🌐 www.city.Koriyama.lg.jp/

